



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月9日

上場会社名 中越パルプ工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3877 URL <http://www.chuetsu-pulp.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 明美
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部副本部長兼管理部長 (氏名) 大島 忠司 TEL 0766-26-2404
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日 配当支払開始予定日 平成29年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	46,125	0.4	△113	—	△231	—	△74	—
29年3月期第2四半期	45,919	△4.7	1,004	170.2	822	161.7	1,247	625.7

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 327百万円 (△71.0%) 29年3月期第2四半期 1,128百万円 (910.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	△5.61	—
29年3月期第2四半期	93.43	—

※平成29年10月1日を効力発生日として、10株を1株とする株式併合を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	129,835	54,898	42.3	4,111.45
29年3月期	130,539	54,808	42.0	4,104.65

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 54,898百万円 29年3月期 54,808百万円

※平成29年10月1日を効力発生日として、10株を1株とする株式併合を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00
30年3月期	—	2.50	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	25.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式10株を1株の割合で株式併合を実施いたしました。

平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金については、当該株式併合を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。当該株式併合を考慮しない場合の30年3月期(予想)の期末配当金は2円50銭となり、1株当たり年間配当金は5円00銭となります。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	95,500	1.7	0	△100.0	0	△100.0	0	△100.0	0.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。平成30年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式併合の影響を考慮しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	13,354,688 株	29年3月期	13,354,688 株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	2,134 株	29年3月期	1,874 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	13,352,696 株	29年3月期2Q	13,353,376 株

(注)当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」および「期中平均株式数」を算定しております。

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び当社が合理的であると判断した一定の前提に基づいた見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、今後様々な要因の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

なお、業績予想に関する事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する情報	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12
(7) 重要な後発事象	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

紙パルプ業界では、情報伝達媒体の電子化や少子化の進行など紙の需要構造の変化に伴い、国内の市場規模が漸減傾向で推移するなか、企業間競争は日々厳しさを増すなど、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況下、当社グループは、中長期成長戦略プラン「ネクストステージ50」に邁進するとともに、生産効率向上・安定操業確保による製造コストの縮減、拡販・新規需要の開拓による販売数量の確保、木質バイオマス燃料発電設備を中心とする発電事業の継続に注力してまいりました。

また、王子ホールディングス株式会社との協力関係のもと、王子製紙株式会社富岡工場の遊休設備を活用し高級白板紙抄紙機への改造を行い、本年10月より営業運転を開始しております。早期に利益貢献するため引き続き品質と安定操業の確立に取り組んでまいります。

加えて、当社川内工場においてセルロース・ナノファイバー第一期商業プラントを本年6月に稼働し、7月初旬より製品の生産を開始いたしました。当社独自の研究開発ノウハウを活かし、応用分野の拡大と販路拡大に注力し、早期の生産拡大を目指します。

当第2四半期連結累計期間の経営成績につきましては、当社二塚製造部において送受電設備が故障（平成30年2月復旧予定）し、電力販売が減少したことや、新聞古紙価格急騰による原料コスト上昇等の影響により、前年同四半期と比較し損益は大幅に下回りました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

連結売上高	46,125百万円	(前年同四半期比 0.4%増)
連結営業損失	113百万円	(前年同四半期は1,004百万円の連結営業利益)
連結経常損失	231百万円	(前年同四半期は822百万円の連結経常利益)
親会社株主に帰属する四半期純損失	74百万円	(前年同四半期は1,247百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益)

(紙・パルプ製造事業)

◎ 新聞用紙

新聞用紙の販売につきましては、新聞各社の発行部数の減少と広告減が影響した頁数の減少に歯止めがかからない状況が続いており数量・金額ともに前年同四半期を下回りました。

◎ 印刷用紙

印刷用紙の販売につきましては、価格修正の駆け込み需要があったにも拘らず、紙媒体から電子媒体へのシフトが進行しており市況は弱含みで推移し数量・金額ともに前年同四半期を下回りました。

◎ 包装用紙

包装用紙の販売につきましては、O&Cペーパーバッグホールディングス株式会社傘下の海外製袋事業の伸びが寄与し、数量・金額ともに前年同四半期を上回りました。

◎ 特殊紙・板紙及び加工品等

板紙及び加工品等の販売につきましては、加工業者の在庫調整による影響や旺盛であったインバウンド需要に陰りが見えて、数量・金額ともに前年同四半期を下回りました。O&Cアイボリーボード株式会社の生産が販売に寄与するのは第3四半期以降となります。特殊紙に関しては加工業者の在庫調整が終わり数量・金額ともに前年同四半期を上回りましたが板紙・加工品の減販を補うまでは至りませんでした。

◎ パルプ

パルプの販売につきましては、パルプ市況の回復に伴い数量・金額ともに前年同四半期を大幅に上回りました。これらにより、当事業の業績は以下のとおりとなりました。

連結売上高	40,541百万円	(前年同四半期比 0.3%増)
連結営業損失	1,091百万円	(前年同四半期は62百万円の連結営業損失)

(発電事業)

発電事業につきましては、当社二塚製造部において送受電設備が故障し、電力販売が減少した影響により減収・減益となりました。

これらにより、当事業の業績は以下のとおりとなりました。

連結売上高	3,117百万円	(前年同四半期比	5.4%減)
連結営業利益	709百万円	(前年同四半期比	12.3%減)

(その他)

建設事業につきましては公共工事を主とした外部工事の受注が増加して増収増益となりました。

また、紙断裁選別事業・運送事業につきましても工場の操業度が向上したため増収・増益となりました。

これらにより、当事業の業績は以下のとおりとなりました。

連結売上高	10,186百万円	(前年同四半期比	1.4%増)
連結営業利益	232百万円	(前年同四半期比	6.4%増)

(2)連結財政状態に関する定性的情報

(総資産)

現金及び預金が2,820百万円減少したことなどにより、流動資産は前連結会計年度末に比べて5.4%減少し、43,350百万円となりました。また、固定資産は、投資その他の資産「その他」に含まれる関係会社長期貸付金が2,807百万円増加したことなどにより2.1%増加し、86,485百万円となりました。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて0.5%減少し、129,835百万円となりました。

(負債)

支払手形及び買掛金が1,215百万円、短期借入金が1,585百万円増加したことなどにより流動負債は前連結会計年度末に比べて4.9%増加し、51,746百万円となりました。また、長期借入金が3,055百万円減少したことなどにより固定負債は12.1%減少し、23,191百万円となりました。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて1.0%減少し、74,937百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて0.2%増加し、54,898百万円となりました。これは主として利益剰余金は親会社株主に帰属する四半期純損失74百万円、剰余金の配当333百万円による減少などにより366百万円減少しましたが、その他有価証券評価差額金が414百万円増加したことなどによります。また、自己資本比率は、前連結会計年度末と比べて0.3ポイント増加し、42.3%となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は3,748百万円(前第2四半期連結累計期間比1,831百万円の減少)となりました。

これは主として、減価償却費4,452百万円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は4,741百万円(前第2四半期連結累計期間比245百万円の増加)となりました。

これは主として、長期貸付けによる支出2,831百万円、有形固定資産の取得による支出2,174百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は1,827百万円(前第2四半期連結累計期間比266百万円の増加)となりました。

これは主として、長期借入金の返済による支出3,369百万円、配当金の支払額332百万円による支出と、長期借入れによる収入1,900百万円によるものです。

(3)連結業績予想に関する定性的情報

平成30年3月期の業績予想につきましては、平成29年9月27日に公表しました「平成30年3月期第2四半期累計期間業績予想及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」における業績予想から見直しは行っておりません。

今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年 3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年 9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,365	3,545
受取手形及び売掛金	22,640	22,269
商品及び製品	7,462	7,854
仕掛品	571	690
原材料及び貯蔵品	4,787	5,083
その他	3,986	3,911
貸倒引当金	△5	△6
流動資産合計	45,807	43,350
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	50,479	50,602
減価償却累計額	△30,404	△31,006
建物及び構築物 (純額)	20,075	19,596
機械装置及び運搬具	244,655	244,838
減価償却累計額	△203,622	△206,305
機械装置及び運搬具 (純額)	41,032	38,533
その他	11,433	12,896
減価償却累計額	△2,805	△2,834
その他 (純額)	8,627	10,062
有形固定資産合計	69,735	68,191
無形固定資産		
その他	237	228
無形固定資産合計	237	228
投資その他の資産		
投資有価証券	8,593	8,993
その他	6,288	9,179
貸倒引当金	△123	△106
投資その他の資産合計	14,758	18,065
固定資産合計	84,732	86,485
資産合計	130,539	129,835

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,874	14,089
短期借入金	29,526	31,112
未払法人税等	477	244
賞与引当金	498	499
その他	5,968	5,799
流動負債合計	49,345	51,746
固定負債		
社債	2,000	2,000
長期借入金	19,058	16,003
固定資産撤去費用引当金	207	-
関係会社事業損失引当金	67	63
退職給付に係る負債	4,861	4,944
その他	190	179
固定負債合計	26,386	23,191
負債合計	75,731	74,937
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,864	18,864
資本剰余金	16,253	16,253
利益剰余金	18,842	18,475
自己株式	△4	△4
株主資本合計	53,955	53,588
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,209	1,624
為替換算調整勘定	37	64
退職給付に係る調整累計額	△394	△380
その他の包括利益累計額合計	852	1,309
純資産合計	54,808	54,898
負債純資産合計	130,539	129,835

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	45,919	46,125
売上原価	36,587	38,040
売上総利益	9,332	8,084
販売費及び一般管理費		
販売手数料	3,336	3,205
運搬費	2,698	2,742
保管費	689	627
その他	1,604	1,621
販売費及び一般管理費合計	8,328	8,198
営業利益又は営業損失(△)	1,004	△113
営業外収益		
受取利息	13	45
受取配当金	96	80
為替差益	-	2
その他	64	66
営業外収益合計	174	195
営業外費用		
支払利息	130	118
為替差損	69	-
持分法による投資損失	118	125
その他	38	69
営業外費用合計	356	313
経常利益又は経常損失(△)	822	△231
特別利益		
投資有価証券売却益	19	-
固定資産売却益	3	7
持分変動利益	898	-
関係会社清算益	-	95
固定資産撤去費用引当金戻入額	7	173
特別利益合計	929	275
特別損失		
固定資産除却損	164	77
特別退職金	20	12
投資有価証券評価損	4	-
災害による損失	99	-
その他	1	-
特別損失合計	289	90
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,461	△45
法人税、住民税及び事業税	189	86
法人税等調整額	24	△57
法人税等合計	214	29
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,247	△74
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	1,247	△74

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,247	△74
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	349
退職給付に係る調整額	20	13
持分法適用会社に対する持分相当額	△140	39
その他の包括利益合計	△118	402
四半期包括利益	1,128	327
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,128	327

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,461	△45
減価償却費	4,528	4,452
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2	△16
受取利息及び受取配当金	△110	△126
支払利息	130	118
投資有価証券売却損益(△は益)	△19	-
固定資産除却損	45	21
投資有価証券評価損益(△は益)	4	-
固定資産売却損益(△は益)	△3	△7
売上債権の増減額(△は増加)	1,081	370
たな卸資産の増減額(△は増加)	△138	△807
その他の資産の増減額(△は増加)	2	△129
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,432	1,215
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	90	103
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1	1
固定資産撤去費用引当金の増減額(△は減少)	△136	△207
その他の負債の増減額(△は減少)	259	△34
未払又は未収消費税等の増減額	676	△896
持分法による投資損益(△は益)	118	125
持分変動損益(△は益)	△898	-
関係会社清算損益(△は益)	-	△95
その他	26	△9
小計	5,682	4,031
利息及び配当金の受取額	102	88
利息の支払額	△131	△118
法人税等の支払額	△72	△252
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,580	3,748
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,412	△2,174
有形固定資産の売却による収入	17	7
投資有価証券の取得による支出	△264	△47
投資有価証券の売却による収入	262	-
短期貸付金の純増減額(△は増加)	△3	121
長期貸付けによる支出	△1,058	△2,831
長期貸付金の回収による収入	21	24
関係会社の整理による収入	-	170
資産除去債務の履行による支出	△36	△1
その他	△21	△9
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,495	△4,741

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	0	△0
長期借入れによる収入	2,400	1,900
長期借入金の返済による支出	△3,602	△3,369
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△332	△332
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△25	△25
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,561	△1,827
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2	△0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△479	△2,820
現金及び現金同等物の期首残高	6,624	6,365
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△15	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,129	3,545

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[セグメント情報]

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	紙・パルプ 製造事業	発電事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	38,566	3,295	41,861	4,058	45,919
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,847	—	1,847	5,989	7,837
計	40,413	3,295	43,709	10,047	53,756
セグメント利益 又は損失(△)	△62	808	746	218	964

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、紙加工品製造事業、運送事業、設備設計施工・修理事業、原材料事業、紙断裁選別包装事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益又は損失(△)	金額
報告セグメント計	746
「その他」の区分の利益	218
セグメント間取引消去	40
固定資産の調整額	3
その他の調整額	△3
四半期連結損益計算書の営業利益	1,004

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	紙・パルプ 製造事業	発電事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	38,679	3,117	41,797	4,327	46,125
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,862	—	1,862	5,858	7,720
計	40,541	3,117	43,659	10,186	53,846
セグメント利益 又は損失(△)	△1,091	709	△382	232	△150

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、紙加工品製造事業、運送事業、設備設計施工・修理事業、原材料事業、紙断裁選別包装事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益又は損失(△)	金額
報告セグメント計	△382
「その他」の区分の利益	232
セグメント間取引消去	38
固定資産の調整額	△2
その他の調整額	1
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△113

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間から、報告セグメントに含まれていた「紙加工品製造事業」について重要性が乏しくなったため、「その他」に含めて記載する方法に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分に基づき作成したものを開示しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。